



渋川市の交流の場 『渋川すこやかプラザ』開設について

渋川市 保健福祉部 こども課 子育て支援総合センター

『渋川すこやかプラザ』は、旧渋川総合病院の建物を活用し、群馬パース大学福祉専門学校との官・学協働により本年4月1日に開設された施設です。

現在、渋川市では結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくりに力を入れ、子育て世帯が安心して暮らすことのできる「子育てするなら渋川市」を目指し、子育ての様々な支援や環境整備に取り組んでいます。

そのひとつとして、地域子どもたちが気軽に集まり遊ぶことができ、また子育て中の親子が交流し、情報を収集できる場所として『子育て支援総合センター』が開設されました。



このセンターには、未就学児を対象とした最新の大型遊具を備えた屋内遊具施設『キッズランド』や、おままごと



とやごっこ遊びのできる乳幼児の遊び場をはじめ、砂場遊びや畑作りなど季節を感じながら外遊びのできる園庭、おもちゃで遊べるコーナーや親子で楽しめる絵本室を併設しています。

また、親子交流室では持参したお弁当などを食べながら親同士の交流が図れます。

さらに、総合相談を受けるコンシェルジュを配置し、子育てに関する様々な相談に応じるとともに、就労情報の提供や内職相談の受付にも応じています。

なお、これまで別な場所にあった『しづかわファミリー・サポート・センター』もセンター内に集約され、会員登録した親同士の相互援助事業を行っています。

交流人口の拡大や人口減少対策を目的として、子育て中の親子を対象とした『子育て支援総合センター』や若者の学びの場である福祉専門学校、高齢者への支援事業を行ったり、学生や子育て中の親子、高齢者など多世代交流の場となる『多目的ホール』を備えた複合施設である『渋川すこやかプラザ』。開設して2か月ほどですが、市民の方々はもちろん、近隣市町村のほか県外の方にもご利用いただき、1日平均100人を超える利用者となっており、渋川市の交流の場として活用されています。

